

授業科目	臨地実習Ⅱ(2022年度入学生)				実務家教員担当科目	○	
単位	2.	履修	選択	開講年次	3~4	開講時期	後期・前期
担当教員	渡邊 和美						
授業概要	<p>臨地実習は管理栄養士養成のための実践教育科目であり、実践的能力を身に付けることができるよう、さまざまな施設での実習を経験する授業である。実習の目的は、「多様な専門領域に関する基本となる力」、「知識・技能・態度および考え方の総合的能力」、「チーム医療の重要性を理解し、多職種や患者・入所者のコミュニケーションを円滑に進めるための能力」、「保健・医療・福祉・介護システムの中での栄養・給食関連サービスのマネジメント能力」、「健康の保持増進・疾病の一次、二次、三次予防のための栄養・食事指導（教育）能力」など多岐にわたるため、実践の場で学び、身に付けることが重要である。そのためには、何よりも医療提供施設・介護老健福祉施設で管理栄養士がどのような実践活動をしているかを臨床の現場で学習することが大切となる。さらに、医療人としての資質を身に付け、管理栄養士としての感性を養うために、臨床現場である各施設で、患者や入所者を中心とした医療・介護の実際や他の専門職種の人々との連携についても深く学習する必要がある。これらの施設での実習を通じて、課題発見・解決、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメント能力を伸ばすことを期待する。</p>						
授業形態	講義・演習			授業 方法			
学生が達成すべき行動目標							
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周りの人に配慮し、良好な人間関係を築くことができる。(DP4-1, DP4-2, DP5-1, DP5-2, DP5-3) 2. 地域、学校、病院、社会福祉施設、事業所等には、どのような人たちがいて、どのような健康課題を抱えている人が多いのかを把握する。(DP1-1, DP1-2, DP2-1) 3. 地域、学校、病院、社会福祉施設、事業所等の対象者は、どのような食事をしている人が多いのかを把握する。(DP3-1, DP3-2) 4. 保健・医療・福祉現場における管理栄養士・栄養士の主な活動を把握する。(DP1-1, DP1-2, DP4-1, DP4-2, DP5-1, DP5-2, DP5-3) 5. 上記の内容を踏まえ、専門職としての使命、習得すべき資質・知識・技術を考え、カリキュラムとの関連性を把握する。(DP3-1, DP3-2, DP4-1, DP4-2) 6. 自己の課題を明確にし、目標を設定することができる。(DP5-1, DP5-2, DP5-3) 						
理想的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務上の問題点や課題があることに気づく。 2. 個人の多様性や喫食者ニーズの変化に気づく。 3. 予定外や想定外の出来事や要求に臨機応変に対応する必要があることに気づく。 4. 栄養摂取状況から栄養管理を必要とする人が多いことに気づく。 5. 問題点や課題への取り組みの重要性に気づく。 6. 管理栄養士・栄養士業務の重要性に気づく。 						
評価方法・評価割合							
	評価方法	評価割合(数値)				備考	
	試験						
	小テスト						

レポート	30%	実習施設へ提出する課題									
発表(口頭、プレゼンテーション)	10%	実習報告会									
レポート外の提出物	10%	実習報告会感想									
その他	50%	実習施設からの評価									
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT32302J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
予習: 事前学習ノートを作成し、実習項目について、整理しまとめる。										1	
復習: 事前学習ノートにより深く調査し、まとめる。											
授業計画											
第1回	<事前学習> 渡邊和美、山田志麻、天本理恵 第1回オリエンテーション: 実習の目的、実習に対しての心構えについて説明する。										
テキスト	必要に応じて、資料を配布する。 福岡県栄養士会監修: 病院栄養管理の基本と実際(福岡県栄養士会)										
参考図書・教材 /データベース・ 雑誌等の紹介	寺本房子編: 臨地実習マニュアル「臨床栄養学」(建帛社) ISBN:978-4-7679-0686-7										
課題に対するフィードバックの方法	レポートは評価後に返却する。										
学生へのメッセージ・コメント	本実習は、実践活動の場において、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識・技術を総合的に学ぶため、これまでに学んだ専門科目の十分な知識・技術を必要とします。臨地実習Ⅱは、管理栄養士国家試験受験必須科目です。そのため、実習のための要件科目が設定されています。本実習は、臨地実習1、栄養治療学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養管理学、栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、栄養カウンセリング論、臨床栄養学実習、栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学実習の単位を全て修得しておかなければ履修できません。また、臨地実習Ⅱに望むにあたり、これまで受講した各教科について十分に復習し、傷病者に対し、『管理栄養士』としてどのような栄養管理を行うかについて、各自でテーマを設定、十分な事前学習を行い、疑問を解決することのできる能力を養いましょう。										